

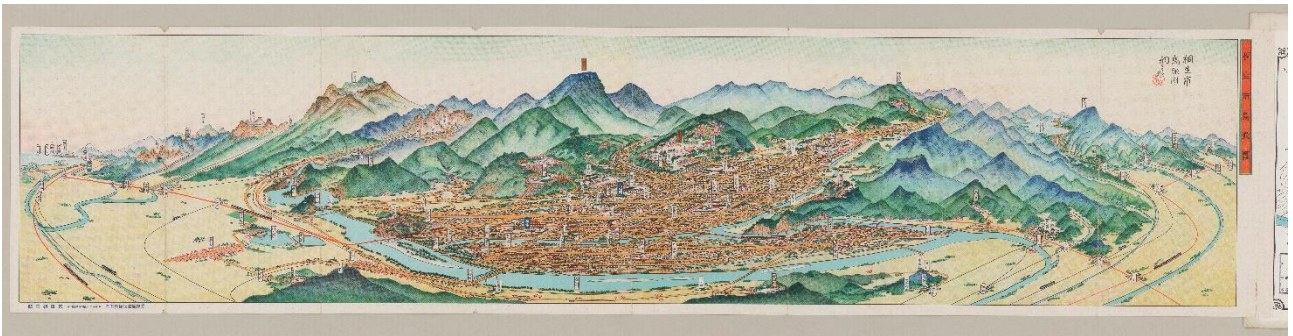
群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 37

請求番号	下記参照	文書番号	下記参照	年代	下記参照
史料名	都市鳥瞰図 4点 (昭和期)				
形態	折本	複製	あり・なし	(展示パネル及びデジタル画像)	
備考	全4点・勝地群馬 (B891226) 昭和11年 ・桐生市鳥瞰図 (P0902 816) 昭和9年 寄贈の古文書 (深井正昭家文書) ・越後路奥日光の関門高原都市ぬまた (B663) 昭和30年代 ・伊勢崎市(全図、観光鳥瞰図・概況) (B637) 昭和25年				
史料概要	4点は、いずれも「大正の広重」として名高い吉田初三郎が手がけた鳥瞰図(観光パンフレット)である。実際の都市地図とは地図としての正確性が異なるが、初三郎独自の大胆なデフォルメを用いて描かれたそれぞれの観光案内図は、その技法によって名所等がより引き立てられており、見る人の興味関心をひきつける史料となっている。 4点とも高画質なデジタルデータでの貸出が可能。				
指導要領(内容)との関連	<小 4> (1)・ア・(ア) 県の地理的環境 (4)・イ・(ア) 県内の文化財の様子 (5)・ア・(ア) 特色あるまちづくりや観光				
活 用 例					
活用単元	市のうつりかわり 他 昭和期の学習や郷土学習				
活用場面	・当時(昭和期)の郷土の様子や特徴が読み取れる史料として、学習の導入場面で活用。				
活用方法	・展示パネル(横幅1m以上)を利用して、児童に提示する。当該単元を学習中は、廊下や教室後部に常設掲示しても効果的と考える。また、デジタル画像もあるので、必要部分を拡大して抽出することも可能であり、当時の郷土の様子を垣間見たり現在の様子と対比させるなどの活用も考えられる。				
予想される生徒児童の反応など	・通常の地図とは違い、視覚的に見る者を惹きつける技法や色合いで描かれた「観光案内図」であるため、児童生徒の興味関心を引くことができると考えられる。また、各都市の史跡名所や景勝地についても表記されており、郷土において昔から残されているものや、無くなってしまったものなどの変容を視覚的に読み取ることが出来ると考えられる。				

勝地群馬 (B891226) 昭和 11 年 群馬県



桐生市鳥瞰図 (P0902 816) 昭和 9 年 桐生市



越後路奥日光の関門高原都市ぬまた (B663) 昭和 30 年代カ 沼田市



伊勢崎市(全図、観光鳥瞰図・概況) (B637) 昭和 25 年 伊勢崎市

